

## (4)体系化された技術を全国各地で指導する団体からの取組紹介

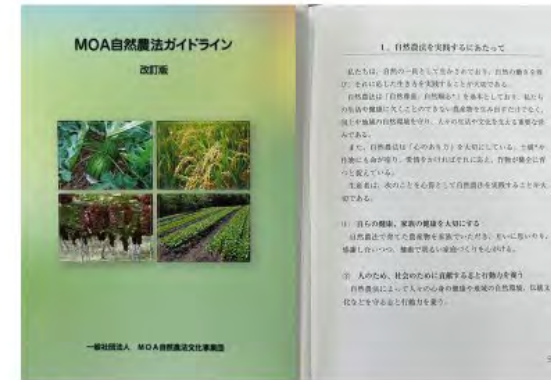
**健康な環境で、健康な作物を育てる**

**(一社) MOA自然農法文化事業団**

# 全国各地への普及



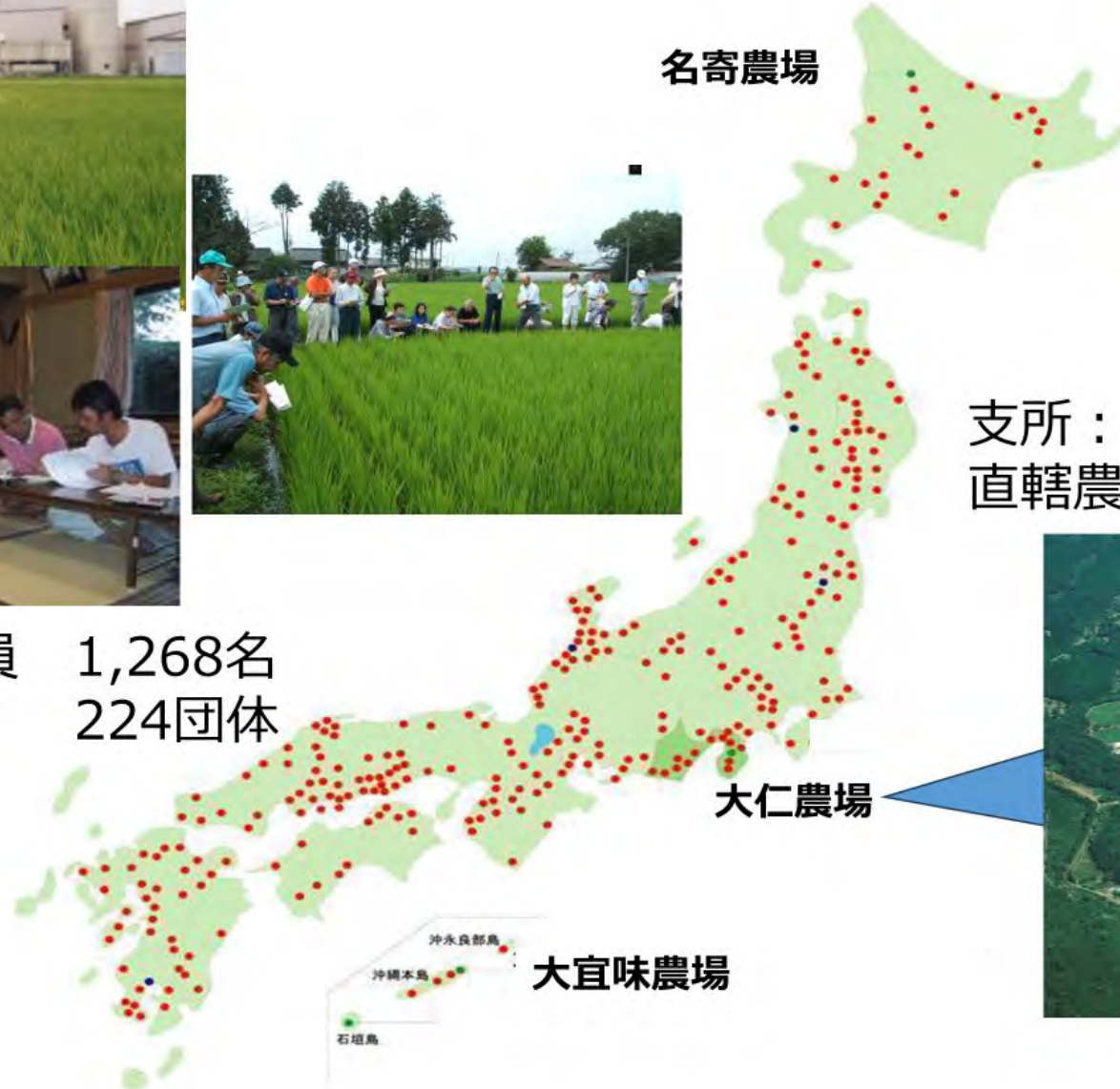
名寄農場



MOA自然農法ガイドライン

支所：10カ所  
直轄農場：9カ所

生産者会員 1,268名  
普及会数 224団体





# 南さつま市における 取組概要



## 事業実施主体

南さつま市

## 関係機関

- ・ 自然農法・オーガニック野菜推進委員会 (有機農業者団体)
- ・ 県立加世田常潤高校
- ・ 私立鳳凰高校
- ・ 県南薩地域振興局
- ・ (株)MOA商事 等

## 主な取組予定・時期

### 【生産の取組】

- 有機農業研修ほ場の設置
  - ・ 加世田常潤高校との連携
  - ・ 研修ほ場の管理
- スマート農業実証ほ場の設置
  - ・ アイガモロボット実証 ほか
- 有機農業担い手の募集
  - ・ インターンシップ受入 ほか

### 【流通・加工関連の取組】

- 学校給食用野菜等での加工試作
  - ・ 規格外野菜のペースト加工 ほか

### 【消費関連の取組】

- 学校給食での有機野菜の活用促進
  - ・ 学校給食センターとの協議
  - ・ 有機野菜推進月間の設定 ほか
- 地域を紹介する資料作成
  - ・ PR動画の作成
  - ・ YouTubeでの情報発信 ほか
- 有機農産物コーナーの設置

(取組時期：R4.4月～R5.2月)



加世田常潤高校との連携協定締結式



規格外野菜のペースト試作

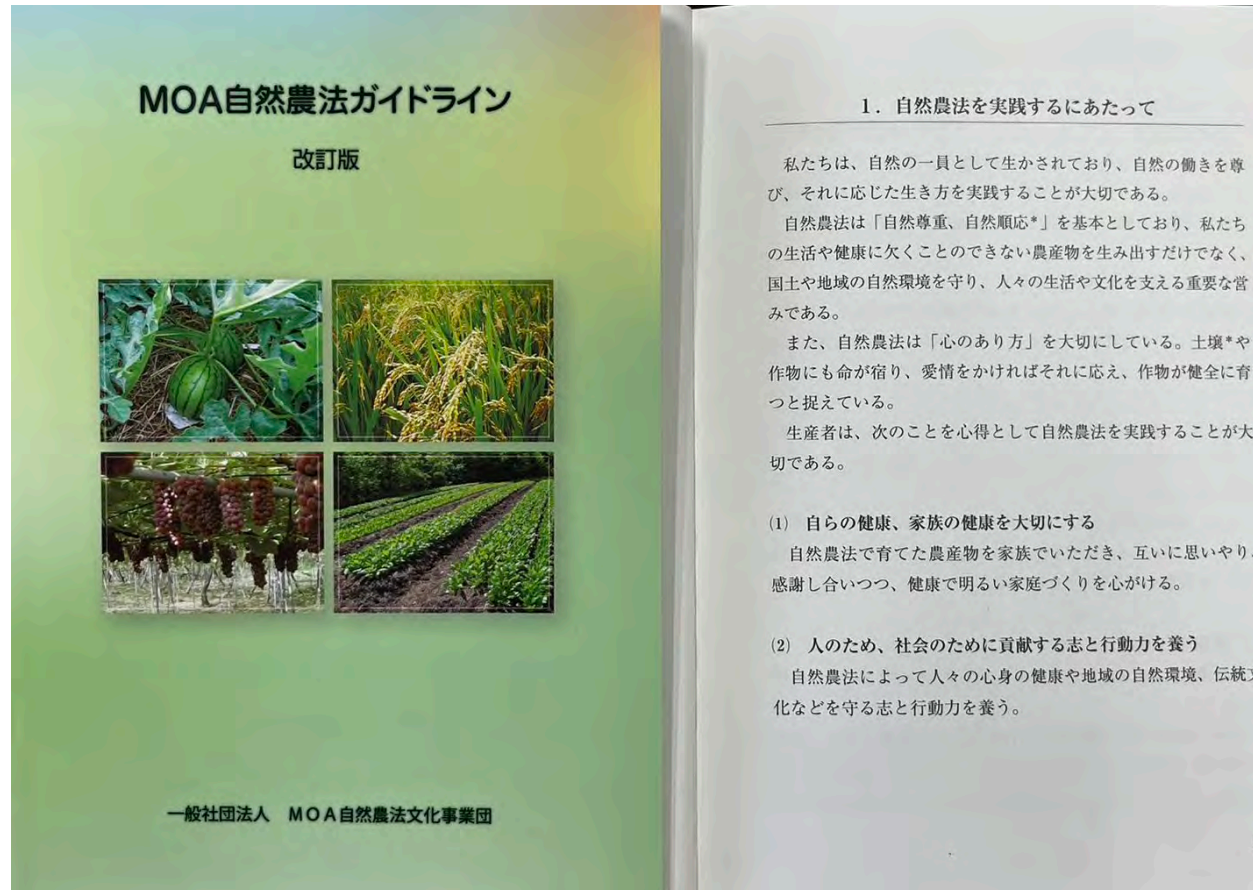


農林水産省ホームページ「オーガニックビレッジ」から抜粋



# 技術体系

## 栽培の指針となるガイドラインを基本に



生産者それぞれが、ほ場に合わせ創意工夫する

# 自然尊重・自然順応（自然の働きに順応する）

自然観察

環境に合わせる

- 気象
- 地形
- 植生（ほ場の経歴）
- 土

適地適作

自然観察

- 土壌断面
- 土壌分析

土を知る

土づくり

作物の根伸びが良い

<そのほ場にあった工夫>

- 連作
- 種

- 耕起法
- 草の活用・管理 等

健康な作物

病虫害対応

品質・収量向上

# 土づくり

▶ 土の偉力を引き出す。

物理性の改善

生物性の発達

化学性の向上

排水性・保水性・通気性の改善  
縦構造の形成  
心土破碎

微生物、土壌小動物の  
多様化、活性化

可給態窒素等、植  
物に吸収されやす  
い形態へ変化

**生産者の事例をもって**

**適地適作・土づくりの具体的な紹介**

# CASE 1 (埼玉県 須賀利治さん)



## ▶ 適地適作

土質によって作りやすい、作りにくい野菜があるため、土質にあった作付けを第一に考えている。

土 質	野 菜
砂地	根菜類、ネギ
砂壤土	ネギ、キャベツ、ブロッコリー、枝豆、葉物、果菜類
粘土	ハクサイ、キャベツ、枝豆、タマネギ
火山灰土	根菜類



# 慣行から有機農業への転換中に作物による土づくり



12月播種

6月収穫 7月播種

11月収穫



# ▶ 根伸びを良くする

初期生育

適期

生育温度の確保

水管理

連作

物理性の改善

作付け  
敷き草





# CASE 2 (北海道 大嶺不二男さん)

## ▶ 土づくり : 土壌の物理性の改善



排水不良 (2012)



イメージ図

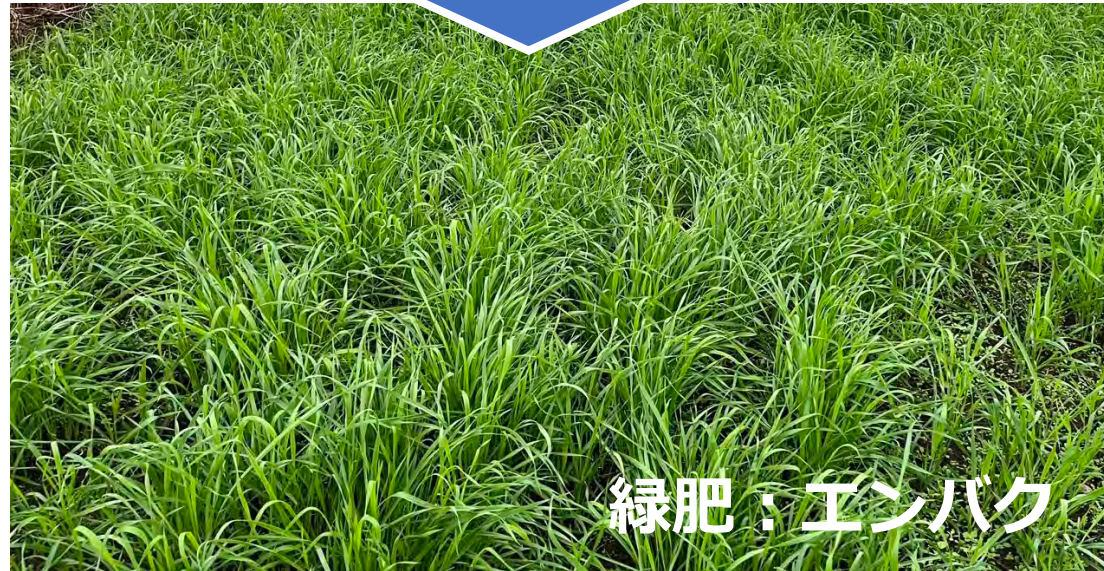


サブソイラー

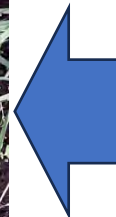
※SUGANOホームページ引用



タマネギ



緑肥：エンバク



雪下分解



**土壌構造を壊さないよう浅耕**







# 病害虫への対応

# CASE 3 : (秋田県 大潟村)

## ニンニク栽培における害虫発生

害虫名	発生条件	発生しやすい環境	対応
ネギカ	春から収穫期 まで年2回発生	多肥で産卵増加 梅雨明け高温乾燥で増加	植え付けを遅らせる 多肥栽培を控える
ネギI	11月頃	魚介、鶏糞や未熟な堆肥に誘引 湿気のある土壌に産卵 低温乾燥	植え付けを遅らせる 生の有機質資材、未熟な堆肥 を控える すき込みは植え付けの1ヵ月 前に行う
ネギ病 ネギアブラムシ	4月発生 最盛期6月 10月再度増加	ネギアブラムシでネギ萎縮病ウ イルスを媒介 乾燥が発生を増長 日当たりの悪いところに発生	植え付けを遅らせる 窒素過多に注意 できるかぎりアミノ酸系の有 機質資材は使わない 障壁作物の利用
ネギアミダ	4月上旬 最盛期6-8月 小麦収穫時期 に飛来	高温少雨 乾燥、風当たりの弱いところ 窒素過多、リン、カリの低い圃 場	植え付けを遅らせる 土壌診断にもとづいた施肥を 行う 畑の乾燥を防ぐ 障壁作物の利用
ネギカサシ チウ	生育初期 収穫期	未熟堆肥で誘引する傾向がある	植え付けを遅らせる 種を温風乾燥 温湯処理47℃25-30分

# 病害虫への対応

## 土づくりの見直し

ほ場の土の  
現状を知る

- ✓断面調査
- ✓土壌分析
- ✓植生

作物の根伸  
びを調べる

## 施用有機物の見直し

- ・種類
- ・施用法など

## 自然観察

### ①栽培の見直し

- ・品種
- ・回避(適地適作)
- ・混作
- ・共栄作物・忌避植物等の利用

### ②環境づくり





**研究**

育種  
連作圃場(30年)  
実証栽培  
腸内細菌  
土壌分析 等

**教育**

自然農法大学校  
基礎技術科  
営農技術科  
短期コース  
社会人コース

**普及**

支所：10カ所  
直轄農場：9カ所  
ガイドラインの  
運用と独自の認  
定制度

一般社団法人 MOA自然農法文化事業団  
公益財団法人 農業・環境・健康研究所

**END**